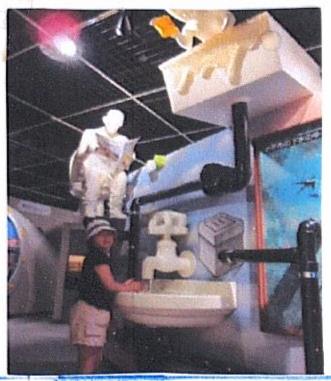
国立学園小学校　四年梅組　志知咲津子

下水道新聞

- ★なぜ下水道が必要なのか
- ✧江戸にもあった下水道
- ♠下水道を守るために



なぜ下水道が必要なのか

明治十二年東京神田でコレラが大流行

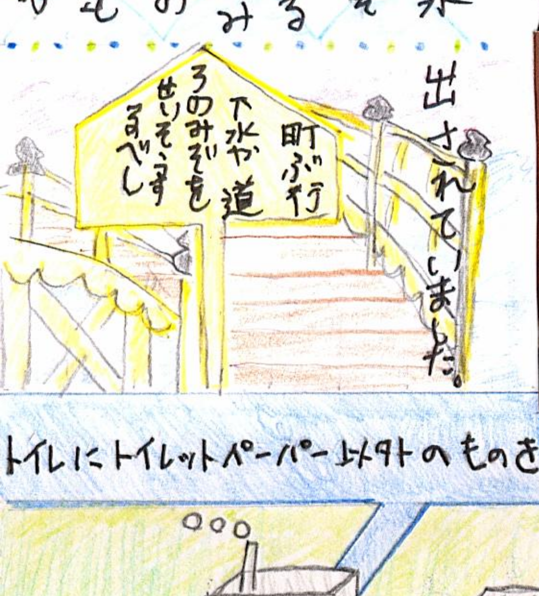
明治十年〜十二年に全国的にコレラが大流行し、死者が十万人にのぼりました。せいふは、人びとのけんこうを守るために、下水道をせいびする事が大事だと考え、神田に下水道を作る事を決定しました。

日本では昔からにょうやべんをひりょうとしてさい利用していました。そのため、水ろや川がにょうやべんでよごれるという事はあまりありませんでした。しかし、明治になるとそれまでのすぐれた知えが見失しなわれ、上水がよごれてきました。また。外国との行き来が活発になったため、外国から伝せん病が来て全国でコレラが流行しました。これは、主にふえい生な飲み水が原いんで発生たものです。そこで、せいふは、ヨーロッパ式の下水道が伝せん病の予ぼうにも必要だと考えました。

実さいの下水道

江戸にもあった下水道

江戸の町は、江戸時代初期から下水道がせいびされていました。町のさかりには大きな下水道があり、町の中の下水は、そこへ流れこみ、近くのほりや、川に流れでて、流れていくうちに、下水はきれいになりました。また町ぶ行所から、下水や道ろのみぞをせいそうする事、下水へごみやきたないものはすてない事というおふれが出されていました。

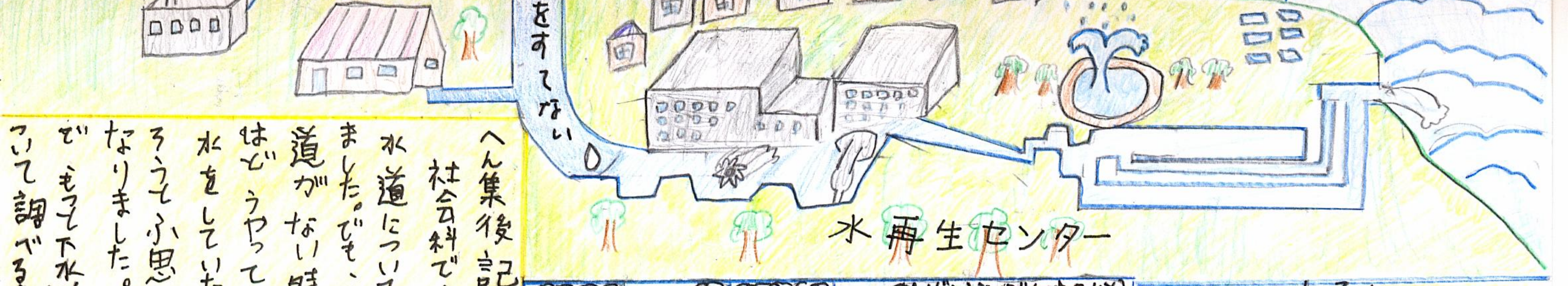


町ぶ行
下水や道ろのみぞをせいそうするべし

💧下水道に油を流さない

💧雨水ますにゴミやおち葉をすてない

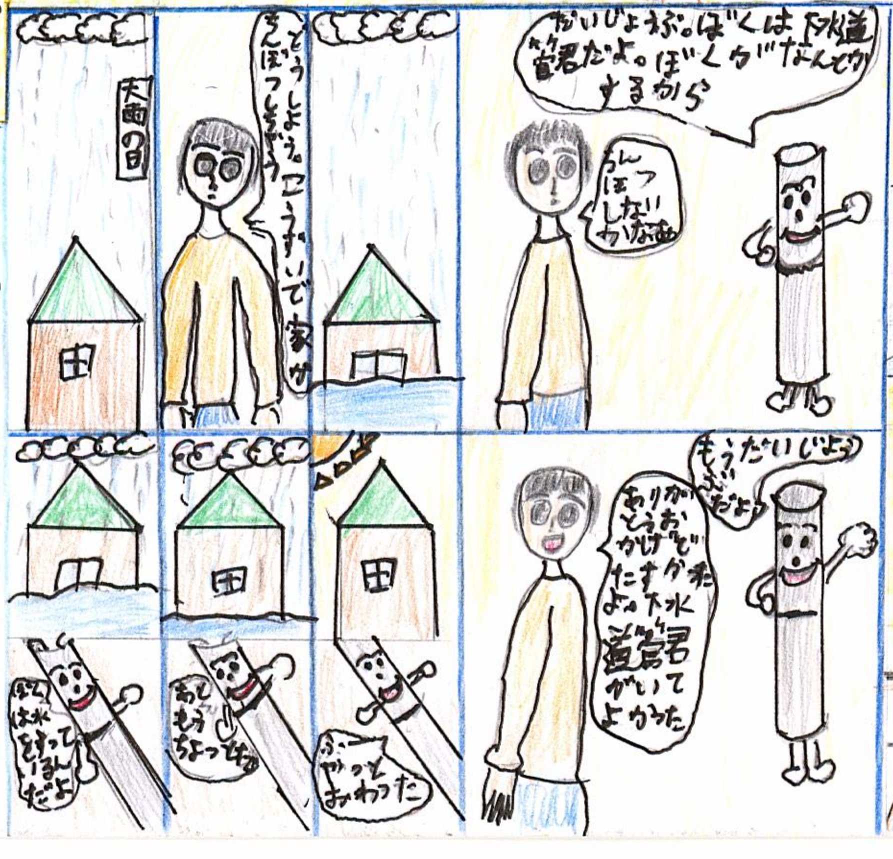
トイレにトイレットペーパー以外のものを流さない💧



へん集後記

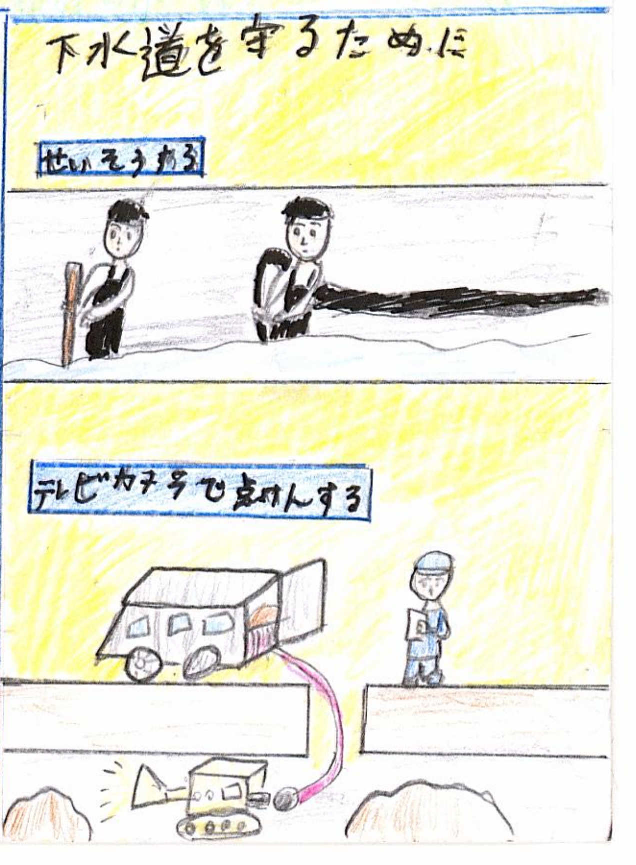
社会科で、下水道について学びました。でも、下水道がない時代はどうやってはい水をしていたのだろうとふ思ぎになりました。そこでもって下水道について調べるために、小平にあるふれあい下水道館に見学に行きました。するとどういうきっかけで下水道が出来たのか、そして下水道のやくわりについて学びを深める事が出来ました。私が水をつかっていられるのは、下水道と、下水道を守ってくださるかたがたのおかげです。その人たちと下水道にかんしゃして、私自身も下水道を守るような行動を心がけたいと思います。

すごいぞ、下水道管君!!



大雨の日
どうしようこうずいで家がちんぼつしちゃう
ぼくは水をすってるんだよ
あともうちょっとだ
ふーやっとおわった
だいじょうぶ。ぼくは下水道管君だよ。ぼくがなんとかするから
ちんぼつしないかなあ
もうだいじょうぶだよ
ありがとうおかげでたすかったよ。下水道管君がいてよかった

下水道を守るために



せいそうする
テレビカメラで点けんする